

巻頭言

「働き方の変化と防犯設備士」

公益社団法人 日本防犯設備協会 常任理事
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
日本事業統括本部事業推進本部設計統括部 統括副部長

橋詰 聰



新年度が来るたびに感じることですが、この数年で世の中は大きく変わりました。新型コロナウイルス感染症の影響や、国内景気の変動、海外情勢の変化、自然災害の多発など、社会環境は大きく変化し、特にこの数年は、世の中の流れ、変化に翻弄されている感があります。

身近な変化の中で、特に大きく変わったと感じるものが「働き方」です。

携帯電話のない時代に社会人となり、約30年がたちました。バブル絶頂期から、失われた20年を経て、多くの環境変化の中、仕事の目標は、ひたすら長時間働き、結果を出すことでした。しかしながら、現在は、いかに短時間で、社会への貢献、また自らと関係する方々、組織への「価値」を提供することに変わりました。

通信ネットワークの発達により、社会のありようも変わりましたが、特にコロナ禍での、在宅ワークの推進により、仕事の進め方が一変しました。コミュニケーションの取り方、紙利用の大幅削減、会議の運用変更など、書き出したらきりがありません。またオフィスでは、フリーアドレスの運用となり自席がなくなりました。慣れてみるとこれはこれで新しい気づきもあると感じております。

そのような中、多くの方がお話をされていますが、環境変化に対応する、順応することが自然になったと感じます。世の中の環境、働き方が変わっても、その本質である、ものを創ることや、お客様に価値、サービスを提供することは全く変わらないとも感じます。個人的な思いとしては、世の中の変化に惑い、追いついていくより、緩やかに流されながら、本質は変わら

ない視点をもてるように日々考えております。

話は変わりますが、防犯設備士、総合防犯設備士を取得してから約20年が経ちました。人間に例えるのであれば、成人となり、これからさらなる発展を遂げる時期に、協会に携われ、非常にありがたく感じています。少し仕事の領域は変わりましたが、現在も防犯設備・システムの開発・設計・導入を担当する部門にて業務を行っております。防犯設備も社会環境と同じで、ニーズ・市場・製品・技術は大きく変化しました。日々の生活や社会活動に、防犯設備・セキュリティシステムは当たり前のものとなって久しい感があります。機器を設計、取り付け運用することで安全安心を守る、警報を通知する、履歴、映像を確認することから、リアルタイムに状況を把握、さらにその先の対応方法を支援するなど、今後もシステムは変わっていくと考えます。先日、総合防犯設備士として3回目の資格更新を行いました。更新手続きにおいて、新しい知識、技術に触れ、設定されたテーマの内容を勉強し調べ、レポートとすること自体に、大きな意味があるということに改めて気が付かされます。更新手続きを通して得るものは知識以外にも、防犯設備の状況、業界や社会情勢を考える上で大きな契機にもなります。

防犯設備士、総合防犯設備士をお持ちの方は、一度昔のテキストを読み返して見るのも、よいのではないかと思います。

最後となりますと、日本防犯設備協会の益々の活性化、ならびに協会活動にかかる皆様のご健勝を祈念いたしております。